

施策分析シート（平成30年度）

No1

施策名	受入体制の充実と観光情報の発信	施策No	06-02	部課名	産業経済部観光振興課		
				課長名	石崎	内線	460
関連部課名	産業経済部観光振興課						
行政評価事業体系	分野	産業革新都市					
	政策	06 人が集う魅力あるまちの形成					

目的 国内外から荒川区を訪れる観光客の受入体制を充実させるとともに、広く荒川区の魅力を発信し、区のイメージアップと知名度向上を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
		27年度	28年度	29年度		
	まちの魅力	2.56	2.61	2.59	荒川区は区外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？	
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	観光ボランティアガイド活動実績回数(回)	23	25	21	30	33
	観光PR協力所設置件数(累計箇所数)	91	94	91	91	114
	まちあるきマップ発行部数累計(千部)	1,374	1,673	1,748	1,858	2,917

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
	給与関係費	21,979	19,460	2,519	地方税	0	0	0	
	物件費	8,276	11,055	2,779	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	358	0	358	都支支出金	553	4,331	3,778	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,668	2,963	1,295	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	412	531	119	その他	1	0	1	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	554	4,331	3,777	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,897	1,835	62	行政収支差額(a)-(b)=(c)	34,036	31,513	2,523	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	34,590	35,844	1,254	通常収支差額(c)+(d)=(e)	34,036	31,513	2,523	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	34,036	31,513	2,523	

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
	流動資産				還付未済金	791	736	55	
	収入未済	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	賞与引当金	791	736	55	
	その他の流動資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	有形固定資産	24,223	3,673	20,550	固定負債	6,903	4,532	2,371	
	土地	19,045	0	19,045	特別区債	0	0	0	
	建物	1,260	0	1,260	退職給与引当金	6,903	4,532	2,371	
	建物減価償却累計額	125	0	125	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等	5,523	5,523	0	負債の部合計	7,694	5,268	2,426	
	工作物等減価償却累計額	1,480	1,850	370	正味財産	17,820	466	18,286	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	17,820	466	18,286	
	建設仮勘定	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	25,514	4,802	20,712	
	その他の固定資産	1,291	1,129	162					
	資産の部合計	25,514	4,802	20,712					

財務諸表に関する特徴的事項等

行政費用として物件費に占める割合が高くなっており、これは観光情報提供事業において、区の魅力を発信するための観光パンフレットの作成及び受入体制整備事業において観光案内標識の盤面改訂に要する経費を支出しているためである。

物件費は前年度と比較すると3割程度増加しているが、これは主に受入体制整備事業の拡大によるものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>区のイメージアップと知名度向上を図るため、観光パンフレットやSNSを活用した情報発信のほか、観光ボランティアガイドの育成、区内宿泊施設や飲食店における外国人受入環境の整備に対する支援、ユニバーサルデザインによる観光案内標識、観光案内所等におけるきめ細かな観光情報の提供など、受入環境の充実と区内外に向けた情報発信に努めている。</p>
課題	<p>今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催やその後の展開を見据え、外国人観光客を含めたより一層の受入環境の整備が求められるとともに、区内外に向け、より効果的に広く情報を発信していくことが必要である。</p>
今後の方向性	<p>荒川区を熟知した観光ボランティアガイドによる「まちあるきツアー」では、更に魅力的なコースを考案するなど、魅力向上を図る。 観光案内所を受入の拠点として、区内関係機関や関係団体、交通事業者等と連携し、質の高いサービスを旅行者に提供する。 外国語に対応した観光案内など、外国人観光客を「おもてなし」する体制を整備する。 「多くの人が荒川区を知っている」という状態を目指し、観光PR協力所の拡大を進めるほか、外国語版観光パンフレットの作成など、外国人を含めた観光客にとって、より魅力的なサービスの提供に努める。 区の魅力を広く発信するため、国内外に向けた多様な情報発信手段の検討・活用を進める。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>受入体制の充実を図るとともに、広く区の魅力を発信していくことで、区のイメージアップや来訪者の増加に繋がり、地域の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚など様々な効果が期待できることから、当該施策の優先度は高い。</p>

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
観光情報提供事業	06-04-01	9,323	8,353	3,227	3,030	推進	推進	区のイメージアップ及び区外からの誘客を図るため、区内外に向けた、様々な情報発信を工夫して促進していく。
荒川区観光大使PR事業	06-04-02	1,567	1,671	43	74	継続	継続	観光大使のPR力を活用し、引き続き区の魅力を発信していく。
観光振興懇談会運営費	06-04-05	2,603	2,789	63	128	継続	継続	有識者や関係団体の意見をより実践的・具体的に施策に反映していくため、懇談会等の提言を今後の計画づくりに活用する。
受入体制整備事業	06-04-07	21,097	23,031	8,259	10,788	重点的に推進	重点的に推進	観光案内所におけるきめ細かな観光案内をはじめ、観光案内標識の整備、観光ボランティアガイドの養成など、来訪者の受入環境の整備を積極的に推進する。
合 計		34,590	35,844	11,592	14,020			